

# HIDAMON Vol.3

～飛騨の隠れた魅力を発掘～



この人にインタビュー!

有限会社 後藤酒店  
後藤 淳子さん



▲柄の綺麗な手ぬぐいでラッピングしてお酒は、お土産としても大人気。



▲店内に展示されている先代が彫刻した木版。



▲古くからある良いものを大切に、後藤酒店を象徴するような看板。

第3回目は、古川町寺之町の後藤酒店をご紹介します。蔵元の前にある酒屋であり、プロパンガスの販売も営んでいる。観光客の目を引く木製の手作り看板や数えきれないほどの酒瓶が並ぶウインドウ。親から子へ引き継がれた大切なお店の随所には親の心を引き継ぐこととする姉弟の想いがあった。今回はそんな姉弟の心に触れる。

後藤酒店は現在の地で60年前酒屋として開業。飛騨の豊かな気候、水、こだわりの酒米から作られる飛騨の日本酒から地ビール、焼酎などを幅広く取り扱っている。プロパンガスの販売も営む後藤酒店には地元の方から観光客までたくさんの方が足を運ぶ。

現在そんな酒屋を営むのは三姉弟。姉弟は家業を継ぐために順に飛騨市にリターン。外には木製で手造りの店看板、店内には先代が趣味で続けたという彫刻された木版が展示されている。『父は若い時から古くからある良いものが好きで維持できるということにう想いで築百年ほどになります。昔からあるものに価値をもちながら、手造り看板などを掲げた外観も味のあるお店というのが一番の個性だと思う。外観に興味を持って足を止めていただけるのも嬉しいですね』と後藤さんは語る。父親がこだわってきた手書きの商品値札も姉弟は大切に引き継いでいる。

また、地元蔵元の魅力を知り尽くす後藤姉弟に聞けばお気に入りの酒を見つけれられるはず。場面や好みに合わせて後藤さんが一押しのお酒をオススメしてくれる。飛騨の蔵元ではない『酒屋』ならではの商品ラインナップがこのお店の強み。ふるさと納税でも酒蔵にはない飲み比べなどの商品が人気だ。その他に手ぬぐいでお酒を包むラッピングやオリジナルラベルも好評である。『手書きだと気持ちがより伝わりますので、遊び字やカッコいい文字などいろいろと使い分けております。どこか特別感をもっていただけたら嬉しいですね。』と話す。後藤酒店「こだわりの贈り物に喜ぶ相手方の顔が目に見えかか。

昔の面影を残しつつ、新しい驚きと発見がある『後藤酒店』の秘密は、後藤姉弟が引き継いできた『味を大切に』という心にあるそうだ。



▲訪れてお酒の好みを伝えれば、所狭しと並べられたお酒の中から一押しのお酒をチョイスしてくれる。



▲訪れた観光客も立ち止まってしまう手づくり感のある外観。

## 人口の動き (1月1日現在 住民登録人口)

男	11,717	女	12,552	計	24,269	世帯数	8,892
出生	9	転入	26	転出	43	死亡	30

## 消防の状況 (12月31日現在)

	火災	救急
飛騨市	12	1124
その他(管外出動)	1	2
前月比	2	91

## 交通事故の状況 (12月31日現在)

	人身交通事故		物損交通事故
	件数	死者 傷者	
本年累計	34	1 58	518
昨年同期	21	4 34	561
増減	13	-3 24	-43

